

地域研究委員会 地域情報分科会（第 25 期・第 2 回）

議事要旨

日 時：2021 年 5 月 14 日（金）13:00～15:00

場 所：Zoom による遠隔会議にて開催

<出席者>

地域情報分科会委員（敬称略）：

石川徹，石川義孝，伊藤香織，岡橋秀典，小口高，狩俣繁久，貴志俊彦，白藤博行，橋本雄一，春山成子，俵木悟，中谷友樹，村山泰啓，三重野文晴，森田喬，矢野桂司，山下潤，山本佳世子，渡辺浩平

<配布資料>

1. 開催通知（議事次第）
2. 「科学技術基本法に関する日本学術会議の立場」および「科学技術基本法科学技術基本法の見直しの方向性について」
3. 「デジタル時代における新しい人文・社会科学に関する分科会」および「デジタル時代におけるあたらしい DHS」
4. 「地名への取組の国際的な動向 国連地名専門家グループ(UNGEGN)」渡辺浩平委員の発表資料
5. 「グローバルなデータ問題と、地域循環共生圏でのデジタル利用の課題と潮流について（試論）」村山泰啓委員の発表資料

<議事概要>

1. 前回議事要旨の確認

これを確認した。

2. 委員からの話題提供

- (1) 「地名標準化に関する最近の動向」

渡辺浩平委員より国連地名専門家グループについて、最近の会合で議論されている内容とともに、日本での国家地名委員会設立へ向けての具体案を示す「提言」の可能性について話題提供（配布資料 4）を受け、委員の間で意見交換を行った。

(2) 「グローバルなデータ問題から地域循環共生圏でのデジタル利用の課題と潮流について（試論）」

村山泰啓委員より、グローバルなデジタルデータのオープン化に関する潮流、日本でのデジタル社会基盤を利用したローカルな公的問題の解決をはかる取り組み、これらで鍵となるデジタルデータの相互接続性や相互通用性の重要性、国家戦略を含む将来の課題等について話題提供（資料5）を受け、委員の間で意見交換を行った。

### 3. 今後の活動方針について

- (1) 矢野桂司委員長より、学術会議推薦者の任命拒否問題、学術会議の変革、科学技術イノベーションにおける人文社会科学の振興への貢献、3つの部を跨いだ取り組み、の4点が本分科会での活動において基軸となることの説明がなされた。とくに、学術会議第一部内で、人文社会科学の基礎データを収集し発信する作業（人文・社会科学基礎データ分科会）が進められており、また、新しい分科会「デジタル時代における新しい人文・社会科学に関する分科会」が設置されることが決まり、これらとの連携も見据えることが説明された。
- (2) 矢野桂司委員長より、過去の本分科会が主導した大型研究の経緯について、その評価と課題を含めて説明がなされた。
- (3) 矢野桂司委員長より、以下の4点について、各委員に意見が求められた。
  - 1 本分科会による今後のマスタープラン（大型研究）への提案
  - 2 地名小委員会を中心とする地名標準化への貢献の仕方
  - 3 地名小委員会との提言とは別に、本分科会独自の提言を行うかどうか（2022年12月に完成している必要あり）
  4. 本分科会としてシンポジウムを開催するか 開催する場合のテーマは

上記の諸点について、委員の間で意見交換を行い、今後の各委員からの意見聴取と議論の継続について確認した。

### 4. その他

次回の会議は、10月の開催を予定することにした。

以上